



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月2日

上場会社名 株式会社 アルメディオ  
コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当 (氏名) 関 清美  
四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 042-511-0500

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,098	108.0	124		160		99	
2022年3月期第1四半期	528	10.6	59		57		61	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 183百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 1百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.97	5.80
2022年3月期第1四半期	4.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,752	3,157	66.0
2022年3月期	4,349	2,751	62.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,136百万円 2022年3月期 2,727百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,046	6.7	90		97		130		7.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	17,372,316 株	2022年3月期	15,772,316 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	111,437 株	2022年3月期	111,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	16,597,142 株	2022年3月期1Q	14,690,879 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「中期経営計画2022」の達成に向けた取り組みを推進し、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を目指して初年度の計画実行に取り組んでまいります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,098百万円（前年同四半期比108.0%増）となりました。利益面は、営業利益124百万円（前年同四半期は営業損失59百万円）、経常利益160百万円（前年同四半期は経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益99百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する当期純損失61百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

#### 断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っており、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、主に乾燥炉用炉材の販売が増加しました。また、売上構成比率は低いものの、断熱材に拘らない商材の販売が定期的な受注により増加しました。

阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司は、異型成形品及び産業炉の販売が増加しました。特に産業炉では太陽光発電パネル製造用の拡散炉が伸張しました。また、為替レートが前年同四半期と比べ円安に進んだことに伴い円換算額が増加しました。

以上により、断熱材事業の売上高は810百万円（前年同四半期比186.3%増）となりました。

#### アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、新規顧客から監視映像記録向けの大型案件を受注したことや、医療機器向けを中心に伸張したこと等により、長期保存用光ドライブの販売が増加しました。また、写真プリント店の端末向けの販売も伸張し、前年同四半期の売上高を上回りました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブの販売において、物流停滞の不安から前倒し受注が続いている米国向けが増加したこと等により、前年同四半期の売上高を上回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は270百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

#### インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行っております。

主要顧客であるカーオーディオ・カーナビ等の車載機器メーカー向けの販売が、テストメディア使用量の減少等の影響により、前年同四半期の売上高を下回りました。また、AV機器市場及びPC市場においても、光ディスク以外の媒体への移行が引き続き進んでいることから需要は減少しました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は12百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

## ナノマテリアル事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行っており、粉末状の炭素繊維を製品化しております。

有償でのサンプル販売を行い、国内外共に幅広い業種へのサンプル出荷が増えております。また、本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応を強化しており、顧客が抱える問題解決に向け複数のスペックの試作品を提案するなど、早期に採用されるよう取り組んでおります。さらに、試薬等の販売を行っている化学メーカーにおいて、当社製品が製品登録され販売が開始されたことにより、国内外のより多くの研究及び開発者に当社製品を手にしていただける環境が増えつつあります。その結果、前年同四半期の売上高を上回りました。

なお、福島双葉工場は、2022年8月中旬の竣工に向けた工事、ならびに2022年9月稼動に向けた準備が予定通り進んでおります。

以上により、ナノマテリアル事業の売上高は4百万円（前年同四半期比241.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、福島双葉工場の建屋及び設備の取得にかかる代金の一部を計上したことによる建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて402百万円増加し、4,752百万円となりました。負債は、買掛金の減少、繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末と比べて3百万円減少し、1,594百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて406百万円増加し、3,157百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました「2022年3月期決算短信」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,538,323	1,338,112
受取手形及び売掛金	1,317,790	1,557,363
商品及び製品	464,143	330,781
仕掛品	57,014	42,665
原材料及び貯蔵品	176,500	216,941
その他	155,994	196,761
貸倒引当金	△23,444	△17,187
流動資産合計	3,686,323	3,665,439
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	162,316	553,636
その他(純額)	398,483	429,232
有形固定資産合計	560,800	982,869
無形固定資産	569	2,049
投資その他の資産	101,492	101,803
固定資産合計	662,861	1,086,722
資産合計	4,349,184	4,752,161
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	232,632	211,475
短期借入金	243,980	243,980
1年内返済予定の長期借入金	13,300	9,298
未払法人税等	29,594	47,734
前受金	260,655	253,839
賞与引当金	56,421	24,700
その他	118,722	131,014
流動負債合計	955,307	922,043
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付に係る負債	40,845	41,914
その他	101,992	130,552
固定負債合計	642,837	672,467
負債合計	1,598,145	1,594,510
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,607,379	1,720,555
資本剰余金	1,560,759	1,673,935
利益剰余金	△494,316	△395,288
自己株式	△88,785	△88,785
株主資本合計	2,585,036	2,910,415
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,204	226,229
その他の包括利益累計額合計	142,204	226,229
新株予約権	23,798	21,006
純資産合計	2,751,038	3,157,651
負債純資産合計	4,349,184	4,752,161

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	528,138	1,098,362
売上原価	387,821	759,492
売上総利益	140,316	338,870
販売費及び一般管理費	199,924	214,536
営業利益又は営業損失(△)	△59,607	124,334
営業外収益		
受取利息	660	393
受取配当金	281	285
為替差益	1,603	36,179
その他	578	1,172
営業外収益合計	3,124	38,032
営業外費用		
支払利息	669	1,504
株式交付費	-	508
その他	87	87
営業外費用合計	756	2,100
経常利益又は経常損失(△)	△57,239	160,266
特別利益		
新株予約権戻入益	-	440
特別利益合計	-	440
特別損失		
固定資産売却損	-	1,135
特別損失合計	-	1,135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,239	159,571
法人税、住民税及び事業税	12,995	31,983
法人税等調整額	△8,534	28,559
法人税等合計	4,461	60,543
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,701	99,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,701	99,027

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,701	99,027
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	63,155	84,024
その他の包括利益合計	63,155	84,024
四半期包括利益	1,454	183,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,454	183,052
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	インダストリアルソリューション事業	ナノマテリアル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	283,099	231,512	12,147	1,378	528,138
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	283,099	231,512	12,147	1,378	528,138
セグメント利益又は損失(△)	△7,165	30,109	7,108	△32,457	△2,404

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,404
全社費用(注)	△57,203
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△59,607

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	インダストリアルソリューション事業	ナノマテリアル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	810,651	270,913	12,090	4,708	1,098,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	810,651	270,913	12,090	4,708	1,098,362
セグメント利益又は損失(△)	163,825	51,720	7,401	△40,077	182,869

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,869
全社費用(注)	△58,535
四半期連結損益計算書の営業利益	124,334

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## (重要な後発事象)

## 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分

2022年5月13日開催の取締役会において、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について、2022年6月24日開催の第42期定時株主総会に付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決され、2022年7月28日に効力が発生しております。

## (1) 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

現在生じている繰越利益剰余金の欠損金を填補し、財務内容の健全化を図るとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行います。

なお、当社の貸借対照表の「純資産の部」における勘定科目間の振替処理であり、純資産額に変動を生じるものではなく、所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではありません。

## (2) 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるものです。

なお、減少前の資本金及び資本準備金の額は、効力発生日の前日までに当社が発行している新株予約権の行使により増加した額を含めております。

## ① 減少する資本金及び資本準備金の額

資本金	1,734,702千円	のうち	600,000千円
資本準備金	1,688,082千円	のうち	600,000千円

## ② 増加するその他資本剰余金の額

その他資本剰余金	1,200,000千円
----------	-------------

## (3) 剰余金の処分の内容

会社法第452条に基づき、上記の資本金及び資本剰余金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当いたします。

## ① 減少するその他資本剰余金の額

その他資本剰余金	1,200,000千円
----------	-------------

## ② 増加する繰越利益剰余金の額

繰越利益剰余金	1,200,000千円
---------	-------------

## (4) 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の日程

① 取締役会決議日	2022年5月13日
② 株主総会決議日	2022年6月24日
③ 債権者異議申述公告日	2022年6月27日
④ 債権者異議申述最終期日	2022年7月27日
⑤ 効力発生日	2022年7月28日